

令和5年第4回宝塚市教育委員会の会議（定例会）会議録

- 1 開催日 令和5年3月9日（木）
- 2 場 所 宝塚市役所 特別会議室
- 3 開会時間 午後2時00分
- 4 閉会時間 午後3時10分
- 5 出席した委員の氏名
五十嵐 孝教育長、木野 達夫委員、松浦 一枝委員及び石井 克馬委員
- 6 除斥した委員の氏名
- 7 委員及び傍聴人を除く、議場に出席した者

管理部長	高田 輝夫	教育企画課長	岡本 進
学校教育部長	坂本 三好	学校教育課長	平野 聖幸
社会教育部長	番庄 伸雄	幼児教育センター所長	三ヶ尻 桂子
管理室長	福井 健介	教育研究課長	山口 直人
学校教育室長	伴 康史	教育支援課長	稲中 伸彦
学校教育次長	美除 浩	学校教育課副課長	片上 健太郎
		教育企画課係長	板垣 慎一郎
		学校教育課係長	加藤 圭亮

- 8 会議の書記
教育企画課事務職員 藤原 明徳

9 議題

- 議案第4号 令和5年度宝塚市立仁川幼稚園の入園式の日を変更することの承認を求めることについて
- 報告事項 令和4年度(2022年度)12月・1月における宝塚市立学校の「いじめ事案」について
- 報告事項 いじめアンケート調査について

会議の概要

開会 午後 2時00分	
五十嵐教育長	令和5年第4回宝塚市教育委員会の会議（定例会）を開催いたします。傍聴希望の方はいらっしゃいますか。
岡本課長	おられません。
五十嵐教育長	それでは、本日の署名委員は松浦委員です。よろしくお願いいたします。 なお本日は、篠部委員から欠席の通知を受けております。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、過半数の委員の出席がありますので、本会が成立する旨報告いたします。 本日の付議案件は、議決事項が1件、議決事項以外の案件2件でございます。 それでは、進行について、事務局からお願いいたします。
岡本課長	本日の付議案件は、議決事項1件、議決事項以外の案件2件です。 議案第4号 令和5年度宝塚市立仁川幼稚園の入園式の日を変更することの承認を求めることについて、報告事項 いじめアンケート調査について、報告事項 令和4年度（2022年度）12月・1月における宝塚市立学校の「いじめ事案」についてです。 なお、いじめ報告事項は個人に関する情報を含んでおりますので、非公開での報告でお願いいたします。
五十嵐教育長	それでは、議案第4号 令和5年度宝塚市立仁川幼稚園の入園式の日を変更することの承認を求めることについて、担当課より説明をお願いいたします。
三ヶ尻所長	議案第4号 令和5年度宝塚市立仁川幼稚園の入園式の日を変更することの承認を求めることについて内容をご説明申し上げます。本件は、令和5年4月11日（火）に行う令和5年度の宝塚市立幼稚園の入園式について、仁川幼稚園においては、令和5年4月10日（月）と11日（火）の2日間に分けて実施することについて教育委員会の承認を求めるものです。 日程変更の理由としましては、仁川幼稚園では、令和5年度から入園する医療的ケアが必要な4歳児の受入れにあたって、バギーに乗っている当該園

児の安全性を考慮し、入園式の開催場所を例年の2階遊戯室から1階ホールへ変更する予定です。

しかし、例年通り3歳児・4歳児の入園式を同時に行うにはスペースが狭いため、4月10日に4歳児、11日に3歳児と入園式を2日間に分けることで、ホールでの実施を可能にしようとするものです。

また、4月10日には始業式があり、同日に4歳児の入園式を行うことで、今後週1回の登園となる当該園児とその保護者が、進級した4歳児・5歳児及びその保護者全員と顔を合わす貴重な機会を提供することができます。

以上の理由から、令和5年度の仁川幼稚園の入園式の日を変更することについて、御承認をお願いいたします。

なお、入園予定の4歳児の保護者には、入園式の日を4月10日に変更する可能性があることを事前に連絡しております。説明は以上です。

五十嵐教育長 説明ありがとうございます。それでは今の件について、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

来年仁川幼稚園に医療的ケアが必要な4歳児が入園します。今後週1回の登園ということでございまして、最終的には仁川小学校への入学を目指しての入園となります。その都合で2日に分けて入園式を開催させていただきたいということでございます。この件についてはよろしいでしょうか。

委員 (なし)

五十嵐教育長 それでは、議案第4号 令和5年度宝塚市立仁川幼稚園の入園式の日を変更することの承認を求めることについては原案どおり可決といたします。

続きまして、報告事項 いじめアンケート調査について、担当課より説明をお願いいたします。

平野課長 報告事項 いじめアンケート調査について報告させていただきます。それではお手元の資料をご覧ください。まずは今年度使用した実施要領です。次にアンケートですが、小学校1年生2年生で実施しているものが3ページからあります。5ページ以降が次年度使用予定のものです。現行との変更点ですが、例えば学校は楽しいですかの設問の選択肢は「楽しい」「少し楽しい

」「楽しくない」の3つでしたが、次年度は「とても楽しい」「楽しい」「楽しくない」と表現を変えています。「少し」というところが日本語のニュアンスとして伝わりにくいと学校から連絡がありましたので変更しています。問①から④までそういう表現の変更をしています。次に最後の問⑩「すぐに相談したいことがある人は」では、これまで選択肢に○をつけることとしていましたが、今回は相談したい相手、担任の先生なのか他の先生なのか、他の先生ということであればその先生の名前を書いてもらうという形で相談できる相手を選べるように変更しています。次に6ページですが、子どもたちが何か相談したい時に連絡する場所の一覧を載せています。一覧の最後にSNS・インターネットで相談と追加しています。今までは電話や直接先生に相談という流れのみ記載していましたが、実際にはSNSでも相談できますので、この情報も掲載して、子どもたちに周知していきたいと思います。次に9ページ以降ですが、これは小学校3年生から6年生用のアンケートです。内容の変更に関しては先ほど説明したとおり「少し」という表現を変えています。例えば①で言いますと「学校は楽しいですか」という問いに「楽しい」「少し楽しい」「少し楽しくない」としていましたが、この表現が分かりにくいので次年度の案では「とても楽しい」「楽しい」「あまり楽しくない」「楽しくない」という日本語として若干分かりやすい表現に改めています。最後の部分の相談したい相手に○を付ける質問も担任の先生以外にも○を付けられるように変えています。続いて15ページをご覧ください。15ページは中学生用のアンケートです。変更点は先ほどご説明した内容のとおりですが、加えて簡単な漢字でもふりがなを全てふっています。子どもたちの中にはふりがながあった方が良いという人もいますので、ふりがなを付け足した状態でアンケートを実施したいと考えています。いじめアンケート調査については以上です。もしご意見等いただけるようであれば、今からでも内容の変更は可能ですのでよろしくお願いいたします。

五十嵐教育長

ありがとうございました。この件について何かご質問等ございますか。

木野委員

今年度までは誰に相談するかを選べる、そうではないという2種類があって学校で決めてもらっていたと思うのですが、次年度は先生を選ぶ形に一本

化するというのでしょうか。

平野課長 説明が不足していました。いじめアンケート調査については学校教育課が実施していますが、もう1つ教育支援課が実施している「こころとからだのアンケート」があります。こちらについては、2種類のアンケート様式を学校が選べるように以前から取り組んでいます。その事情もあり学校教育課が実施するいじめアンケートも子どもが相談しやすい先生を選べるように取り組んでいきます。

木野委員 わかりました。こころとからだのアンケートと誤解していました。

五十嵐教育長 こころとからだのアンケートについては次年度も学校で選べるということでしょうか。

平野課長 ということだと思います。

五十嵐教育長 そういう形でやるということですね。学校側からもそういう形でやる方がいいという意向があるのでしょうかね。

平野課長 その部分は確認できていませんが、子どもたちが担任の先生との関わりを非常に重要視している中でも、やはりもう少し話しやすい先生に相談したいという流れもあり、私たちもその通りだと考えています。いじめが子どもたちの中でどれだけあるか、どのような対応をしていかないといけないか確認をするため、このような形で今回は進めていきます。

五十嵐教育長 こころとからだのアンケートについては年度初めだからという理由で、担任の先生が子どもたちとの関係を築きたいということで様式を選べるようにしていたのですね。2学期、3学期は一本化したものでいくということですか。

平野課長 いじめアンケートについては様式一本で行きたいと考えています。

五十嵐教育長 他にご意見はありませんか。

石井委員 質問を先にさせていただいていいのでしょうか。いじめアンケートは年3回とのことですが、そのタイミングはいつになりますでしょうか。

平野課長 1回目のいじめアンケートについては、1学期にこころとからだのアンケートを実施することから、子どもたちの負担にならないように実施時期を変えていただいても構わないとしていますので、時期は学校に任せています。

例えば2学期の最初、中頃、後の方にするか各学校に任せています。

石井委員

わかりました。ただそれでいくと、5番の項目の「最近」というのはじめのタイミングもあると思うのですけれど、例えば夏休み明けなどにこのアンケートを実施してこの「最近」という選択肢だとチェックを入れないお子さんも出てくるのではないのでしょうか。「最近」という文言はネックかなと思ひまして、例えば1学期の終わりにそういうことがあったけど、1学期はこことからだのアンケートがあったのでいじめアンケートは無しにして2学期の始めにしようかという学校で、夏休みが明けてしまっているからその子は「最近」というところで引っかかるのでは。小学1、2年生は理解できないかもしれませんが、高学年あるいは中学生になっていくと「最近」にチェックを入れない可能性があります。でも2番に○を付けた人は9番に進んでくださいとあるので、飛んで行ってしまうのではないかと思います。その辺りはどうなのでしょう。タイミングが決まっているのであれば大丈夫だと思っていたのですが。

平野課長

いじめアンケートを実施するタイミングはいつという指定はしていません。学校の中でそれぞれ良いタイミングというものがあると思うためです。「最近」を外すと、極端な話、生まれてから今に至るまでずっとということになるので、解消した事案であるとか、過去に振り返ってという意味ではないことを表したいのですが、難しいですね。

坂本部長

実際に学校では2学期早々にする場合、3学期早々にする場合などでも口頭で例えば1学期での様子でも良いから、と補足する形で実施しています。

石井委員

それが徹底できているのであれば良いと思います。あともう1点がすぐに相談したいことがあるという部分と、次のページのパソコンを使っての相談というところですが、二次元コードからアクセスできるページは子どもたちが持っているタブレットではアクセス制限がかかってしまうページになるのでしょうか。

もし制限がかからないということであればタブレットという表現を入れてあげた方が良いと思います。子どもたちはタブレットとパソコンは別という認識を持っていると思います。ただ子どもたちが使っているタブレットは結

構アクセス制限がかかるので、もし制限がかかっていないのであれば表現を追加した方が良いと思います。

平野課長 一度確認いたします。

五十嵐教育長 石井委員、よろしいですか。

石井委員 はい。

五十嵐教育長 この二次元コードは印刷しても読み込めるのですか。

岡本課長 私の携帯電話で読み込んだところアクセスできました。

五十嵐教育長 わかりました。他にご意見はありませんか。

松浦委員 相談したい相手として先生という選択肢があるのはすごく良いと思いましたが、先生限定なのでしょうか。学校の中では「先生」とは呼ばないけど日ごろ子どもと接している人は他にもいます。例えば図書室の学校司書さんは子どもたちから何と呼ばれているのですか。

坂本部長 やはり「先生」ですね。スクールカウンセラーさんも「先生」と呼んでいます。そもそも小学校では給食調理員さんなども「先生」と呼ぶように指導しています。

松浦委員 そうなのですね。わかりました。

五十嵐教育長 中学校は大丈夫でしょうか。小学校はそうかなと思うのですが。

平野課長 中学校では特に生徒に「先生」と呼ぶようには指導はしていませんが、小学校から昇級してくるため、慣例的に給食調理員なども「先生」と呼んでいます。私が中学校教員の時も「先生」と呼ぶような指導はしていませんでした。

五十嵐教育長 私からもよろしいでしょうか。要綱の部分ですが、改めて読んでみたらアンケートを取った後の④調査の実施について校内いじめ防止委員会でアンケート後まとめて分析を行い協議するとあるが、毎半年3回少なくともアンケート後には協議をしてさらに実施報告書を作り市の教育委員会に提出するというのでしょうか。市教委はこれを集約しているということですか。

片上副課長 実施報告書はいただきます。

五十嵐教育長 報告書の精査や集計はしていないということですか。

片上副課長 そうですね。学校からは別に問題行動識別というものが送られてくるので、

それを用いて特別な案件は市教委で把握しています。

五十嵐教育長 それは月毎ですか。

片上副課長 月毎です。いじめアンケートが行われた月はその数が増えるということになります。そこで管理しています。

五十嵐教育長 なぜそのようなことを聞いたかと言うと、ここまできっちりと報告書を作っているのに集めているだけというのは非常にもったいないと思ったからです。例えば年に3回まとめてどの学校からも出てくるということにすれば、それに目を通して検証するということがあっても良いと思っています。そのような気がするので、そこはまた考えていただきたいなと思います。あとは細かいことですが、変更した文面のことです。例えば低学年用で①②は「とても楽しい」「楽しい」に変更するのですよね。③は「とてもできている」とあるが、私個人的には「よくできている」という表現の方が良いような気がします。中学生用でも「とても取り組んでいる」とあるが、これも「よく取り組んでいる」ではないかなと思っています。そこも一度協議してもらえないでしょうか。「自分から進んで授業に参加しているか」の設問のところでは。

木野委員 確かに「よくできている」の方が日本語としてしっくりきますね。

五十嵐教育長 子どももその方がしっくりくるのではと思っています。細かいことですが、他にこのいじめアンケート調査についてご意見ご質問はありませんか。

委員 (なし)

五十嵐教育長 それでは今の報告では次年度から文面を少し変えるということと、大きなところとしては相談する相手は子どもが選択することができるという部分が変わるということではよろしいでしょうか。

それではこの件については終わりにしたいと思います。続きまして、先ほど事務局からありましたように次の報告は非公開といたしますので、よろしく願いいたします。

それでは、報告事項 令和4年度(2022年度)12月・1月における宝塚市立学校の「いじめ事案」について、担当課より説明をお願いいたします。

【非公開での報告事項あり】

五十嵐教育長 本日の案件は以上となります。事務局から他にご報告いただくことはありますか。

岡本課長 ございません。

五十嵐教育長 それでは本日の教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会 午後 3時10分